

9 産業廃棄物処理施設について

(1) 廃棄物処理施設を見学した経験

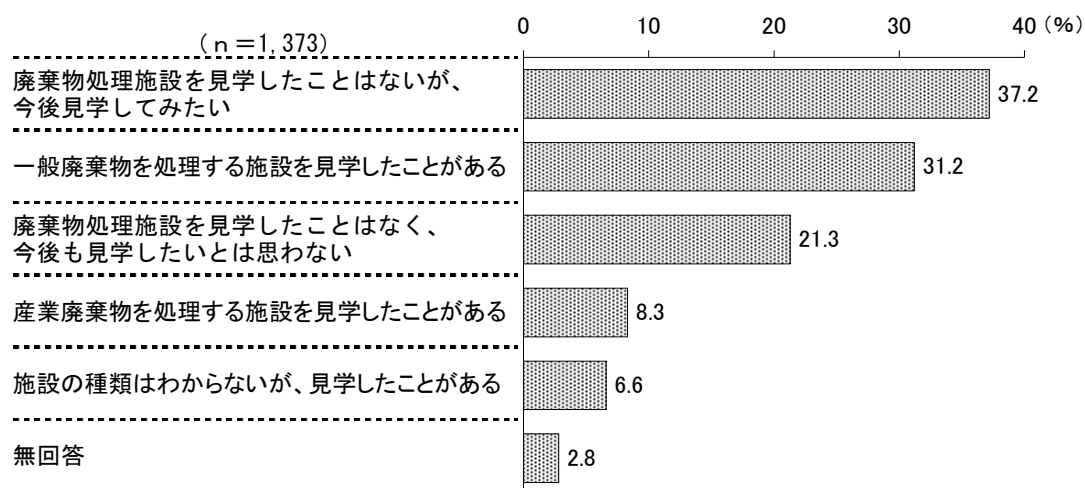
問24 あなたは、廃棄物処理施設を見学したことがありますか。また、見学したことがない方は、今後見学してみたいと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,373]

1	一般廃棄物（※1）を処理する施設を見学したことがある	31.2%
2	産業廃棄物（※2）を処理する施設を見学したことがある	8.3
3	施設の種類はわからないが、見学したことがある	6.6
4	廃棄物処理施設を見学したことはないが、今後見学してみたい	37.2
5	廃棄物処理施設を見学したことはなく、今後も見学したいとは思わない	21.3
	(無回答)	2.8

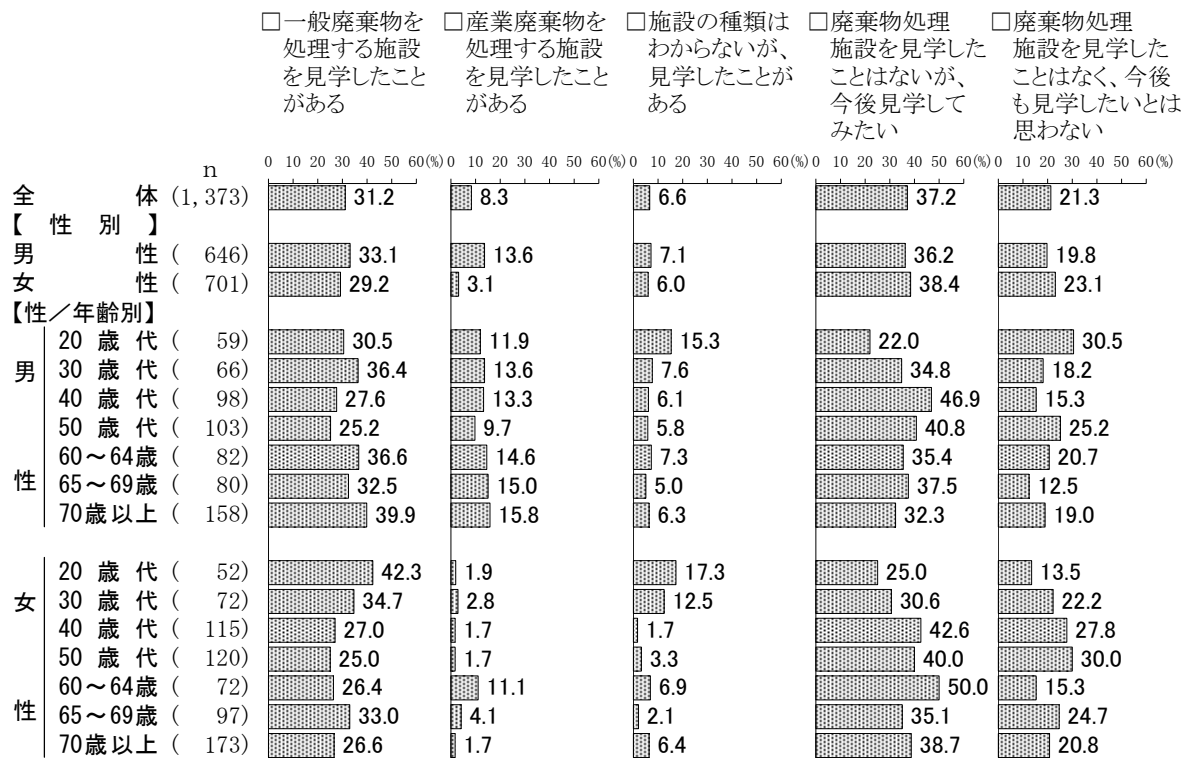
※1 一般廃棄物とは、生活ゴミなど一般家庭から排出される廃棄物です。

※2 産業廃棄物とは、民間企業の事業活動（工場で製品を生産する、建物を解体するなど）から排出される廃棄物です。



全体でみると、「廃棄物処理施設を見学したことはないが、今後見学してみたい」(37.2%)が4割近くで最も多く、次いで「一般廃棄物を処理する施設を見学したことがある」(31.2%)、「廃棄物処理施設を見学したことはなく、今後も見学したいとは思わない」(21.3%)の順となっている。

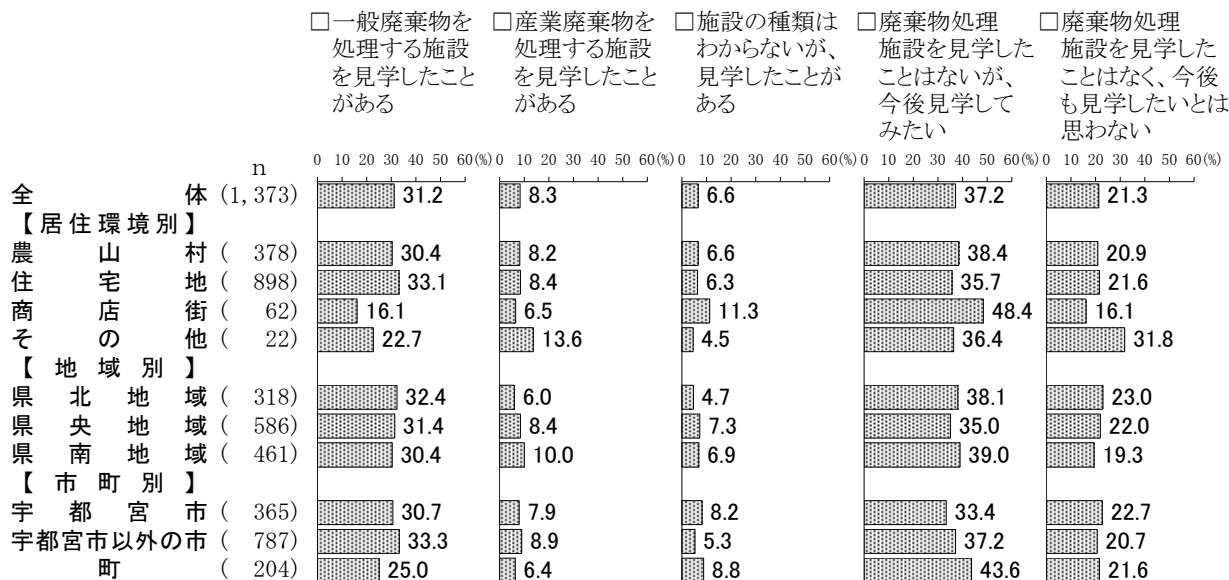
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「産業廃棄物を処理する施設を見学したことがある」では〈男性〉(13.6%)が〈女性〉(3.1%)より10.5ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「一般廃棄物を処理する施設を見学したことがある」では〈女性20歳代〉が42.3%と高くなっている。「廃棄物処理施設を見学したことはないが、今後見学してみたい」では〈女性60～64歳〉が50.0%と高くなっている。「廃棄物処理施設を見学したことはないが、今後も見学したいとは思わない」では〈男性20歳代〉が30.5%、〈女性50歳代〉が30.0%と高くなっている。

[居住環境別・地域別・市町別]



居住環境別でみると、「一般廃棄物を処理する施設を見学したことがある」では〈住宅地〉が33.1%と高くなっている。「廃棄物処理施設を見学したことはないが、今後見学してみたい」では〈商店街〉が48.4%と高くなっている。

地域別でみると、「廃棄物処理施設を見学したことはないが、今後見学してみたい」では〈県南地域〉が39.0%、〈県北地域〉が38.1%となっており、〈県央地域〉(35.0%)に比べて高くなっている。

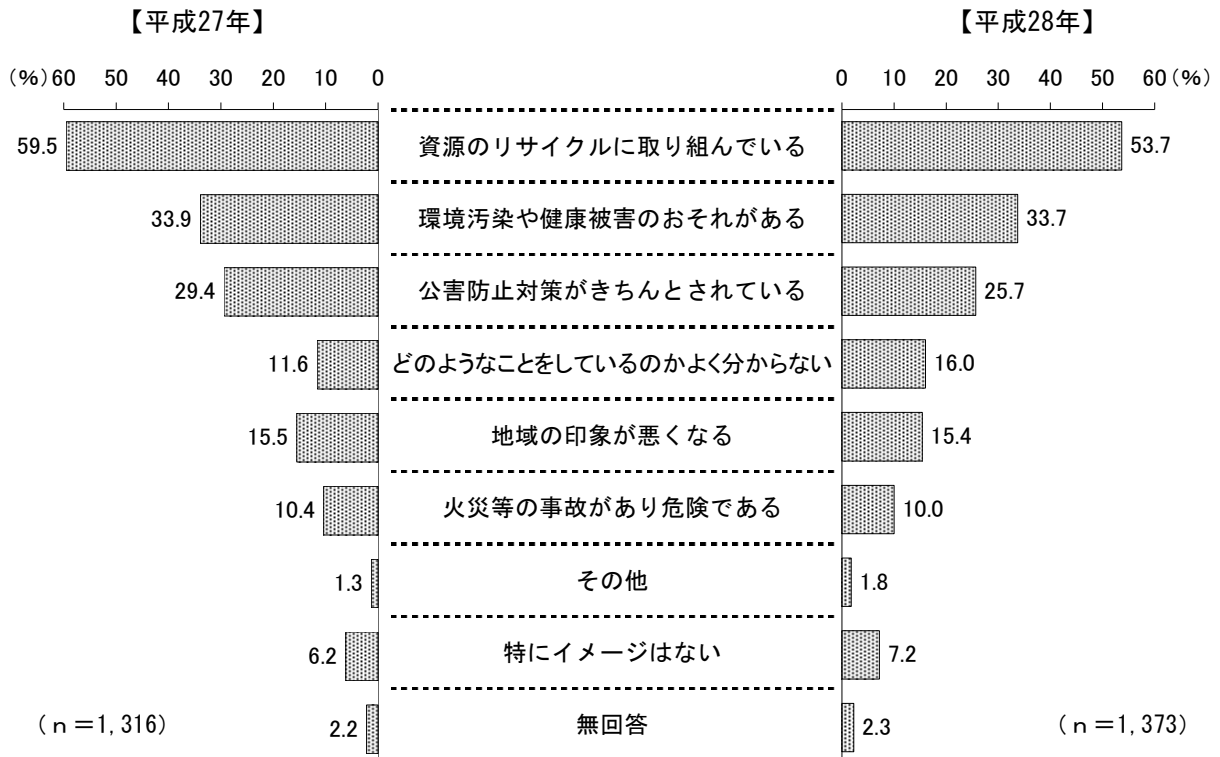
市町別でみると、「一般廃棄物を処理する施設を見学したことがある」では〈宇都宮市以外の市〉が33.3%と高くなっている。「廃棄物処理施設を見学したことはないが、今後見学してみたい」では〈町〉が43.6%と高くなっている。

(2) 「産業廃棄物処理施設」のイメージ

問25 あなたは「産業廃棄物処理施設」にどのようなイメージがありますか。
次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,373]

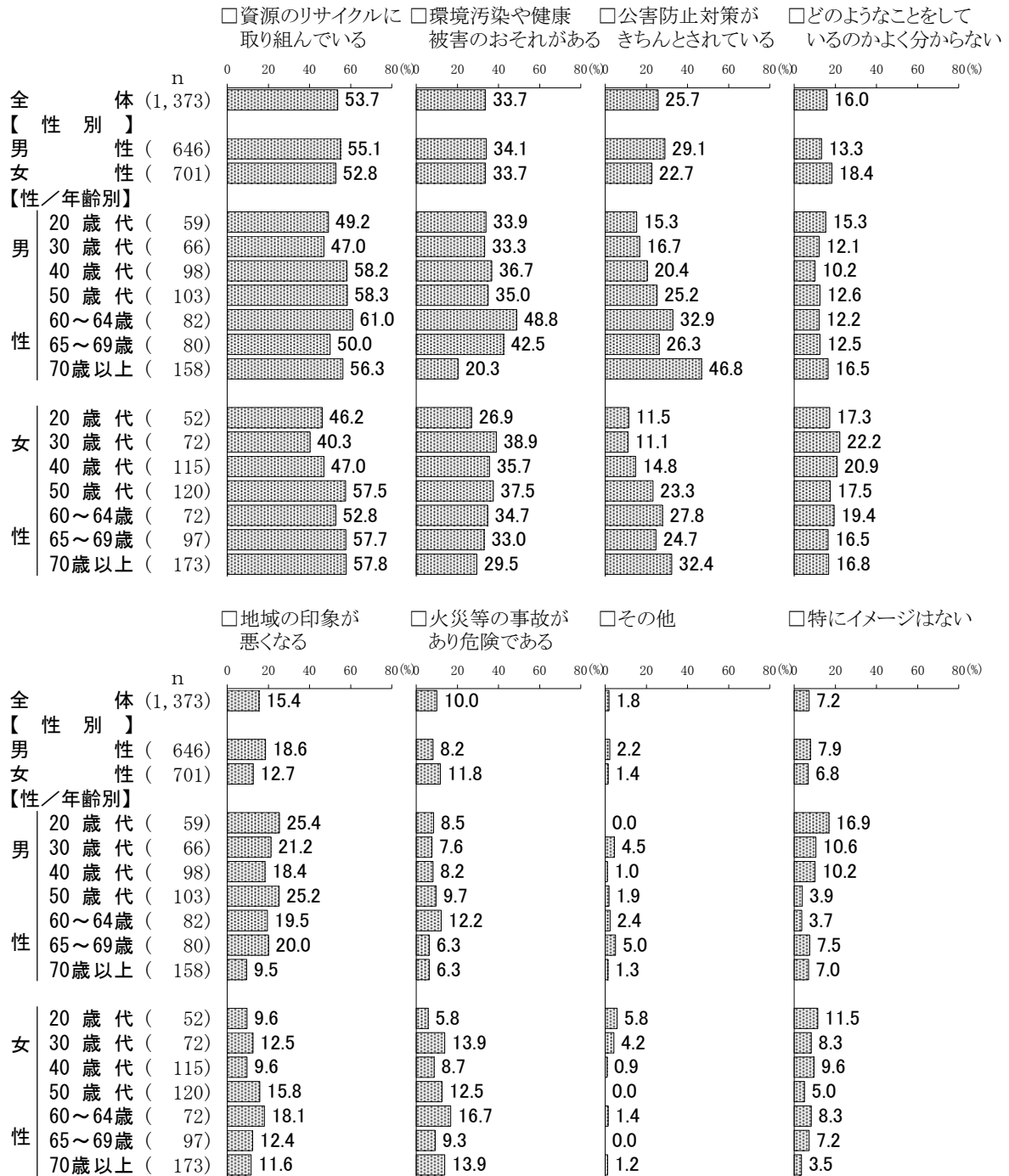
1	公害防止対策がきちんとされている	25.7%
2	資源のリサイクルに取り組んでいる	53.7
3	環境汚染や健康被害のおそれがある	33.7
4	火災等の事故があり危険である	10.0
5	地域の印象が悪くなる	15.4
6	どのようなことをしているのかよく分からない	16.0
7	その他	1.8
8	特にイメージはない	7.2
	(無回答)	2.3



全体で見ると、「資源のリサイクルに取り組んでいる」(53.7%)が5割を超えて最も高く、次いで「環境汚染や健康被害のおそれがある」(33.7%)、「公害防止対策がきちんとされている」(25.7%)、「どのようなことをしているのかよく分からない」(16.0%)、「地域の印象が悪くなる」(15.4%)の順となっている。

前回(平成27年)の調査結果と比較すると、「資源のリサイクルに取り組んでいる」が5.8ポイント、「公害防止対策がきちんとされている」が3.7ポイント、それぞれ減少している。一方、「どのようなことをしているのかよく分からない」が4.4ポイント増加している。

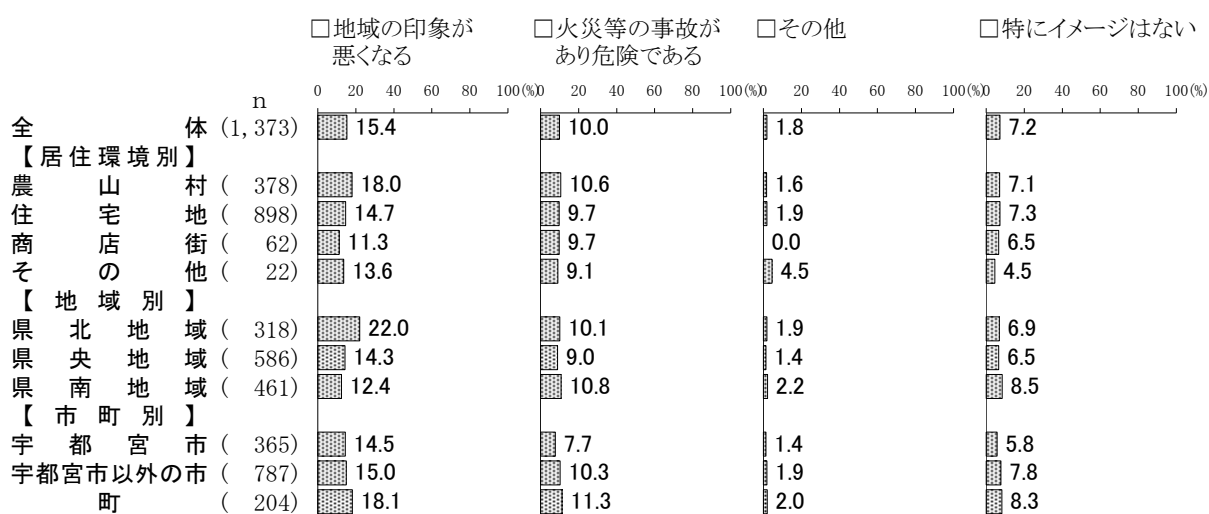
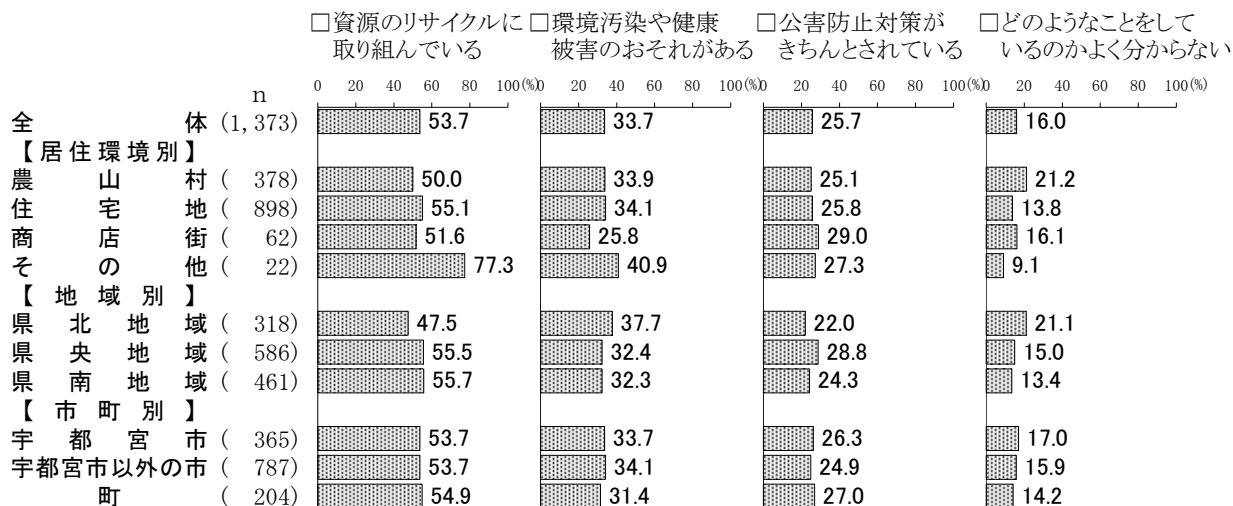
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「公害防止対策がきちんとされている」では〈男性〉(29.1%)が〈女性〉(22.7%)より6.4ポイント高くなっている。「地域の印象が悪くなる」では〈男性〉(18.6%)が〈女性〉(12.7%)より5.9ポイント高くなっている。「どのようなことをしているのかよく分からない」では〈女性〉(18.4%)が〈男性〉(13.3%)より5.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「資源のリサイクルに取り組んでいる」では〈男性60~64歳〉が61.0%と高くなっている。「環境汚染や健康被害のおそれがある」では〈男性60~64歳〉が48.8%と高くなっている。「公害防止対策がきちんとされている」では〈男性70歳以上〉が46.8%と高くなっている。「地域の印象が悪くなる」では〈男性20歳代〉が25.4%、〈男性50歳代〉が25.2%と高くなっている。

[居住環境別・地域別・市町別]



居住環境別で見ると、「どのようなことをしているのかよく分からない」では〈農山村〉が21.2%と高くなっている。「地域の印象が悪くなる」では〈農山村〉が18.0%と高くなっている。

地域別で見ると、「資源のリサイクルに取り組んでいる」では〈県南地域〉が55.7%、〈県央地域〉が55.5%となっており、〈県北地域〉(47.5%)に比べて高くなっている。「環境汚染や健康被害のおそれがある」では〈県北地域〉が37.7%と高くなっている。「公害防止対策がきちんとされている」では〈県央地域〉が28.8%と高くなっている。「どのようなことをしているのかよく分からない」では〈県北地域〉が21.1%と高くなっている。「地域の印象が悪くなる」では〈県北地域〉が22.0%と高くなっている。

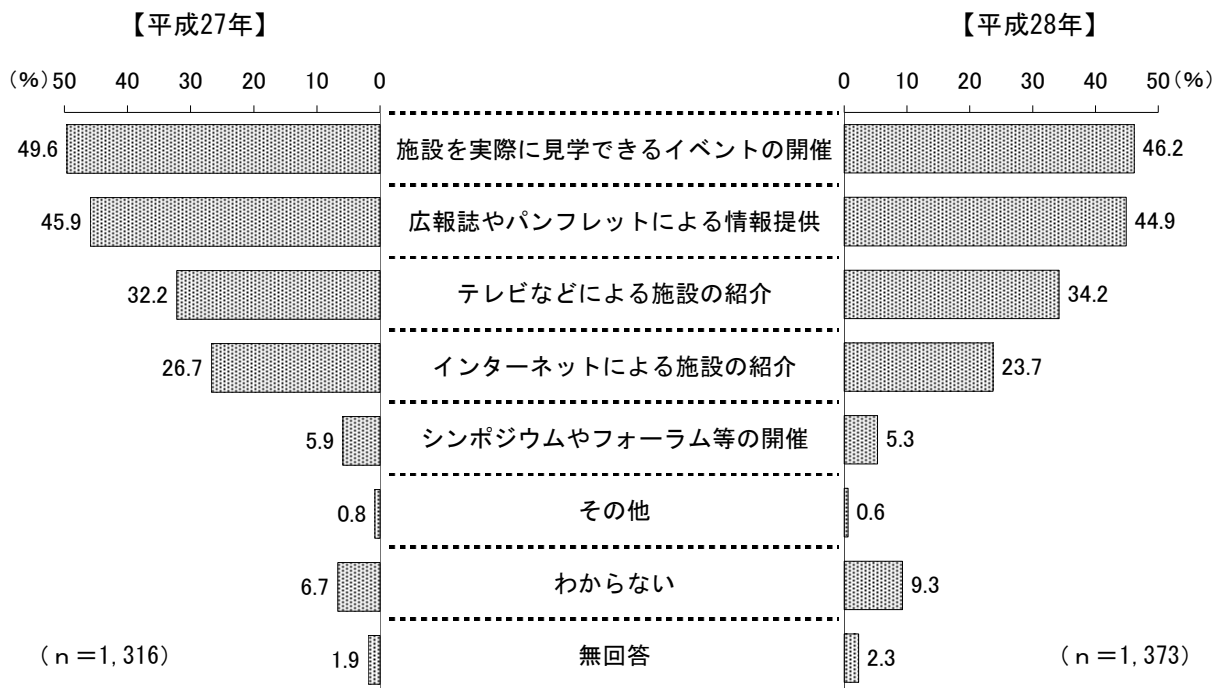
市町別で見ると、「地域の印象が悪くなる」では〈町〉が18.1%と高くなっている。

(3) 産業廃棄物処理施設を知るために県に求めること

問26 あなたが、産業廃棄物処理施設を詳しく知りたいと思ったときに、県にどのようなことを求めますか。次の中から2つまで選んでください。

[n=1,373]

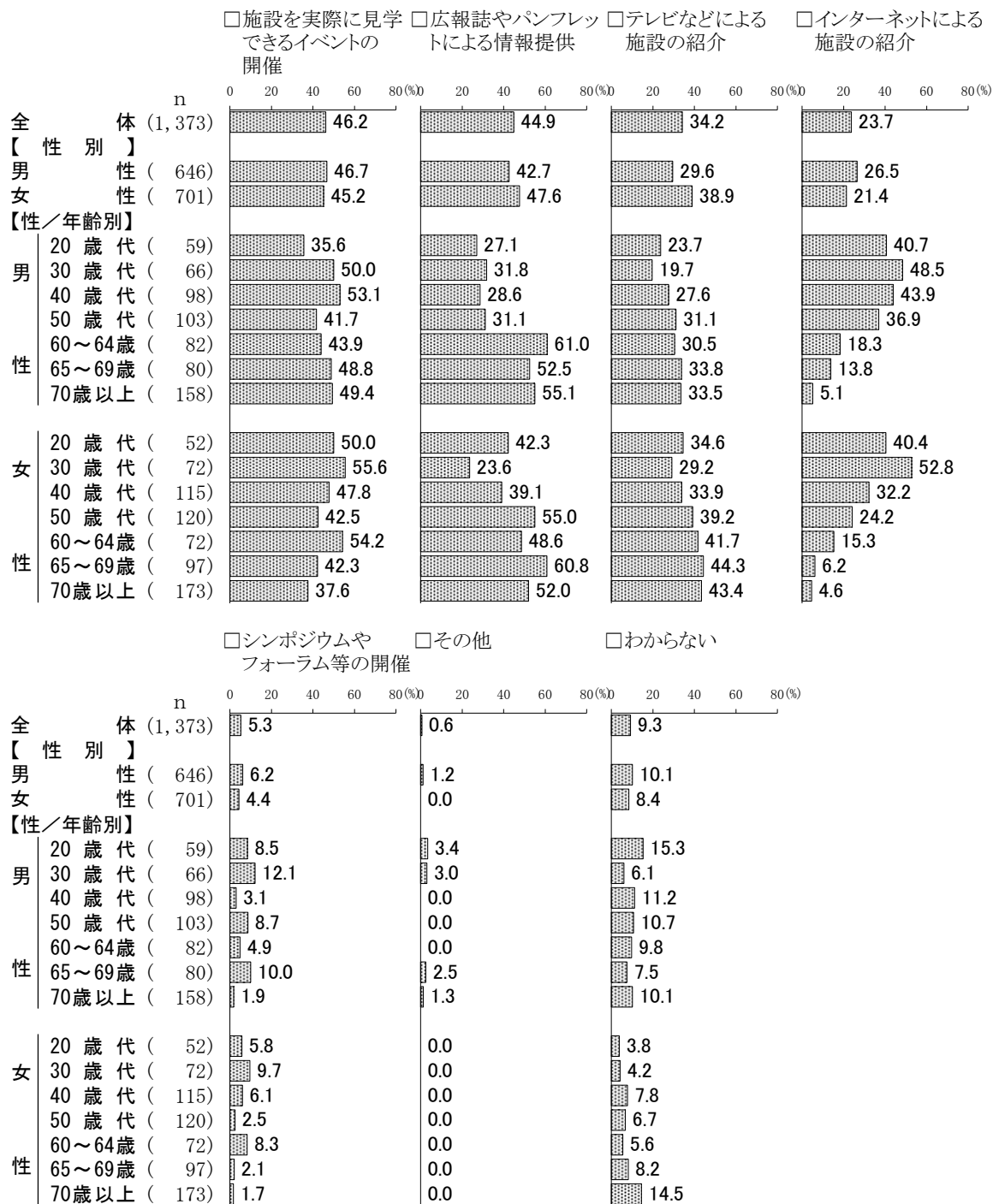
1	施設を実際に見学できるイベントの開催	46.2%
2	インターネットによる施設の紹介	23.7
3	広報誌やパンフレットによる情報提供	44.9
4	テレビなどによる施設の紹介	34.2
5	シンポジウムやフォーラム等の開催	5.3
6	その他	0.6
7	わからない	9.3
	(無回答)	2.3



全体で見ると、「施設を実際に見学できるイベントの開催」(46.2%)と「広報誌やパンフレットによる情報提供」(44.9%)がともに4割半ばで高く、次いで「テレビなどによる施設の紹介」(34.2%)、「インターネットによる施設の紹介」(23.7%)の順となっている。

前回(平成27年)の調査結果と比較すると、「施設を実際に見学できるイベントの開催」が3.4ポイント、「インターネットによる施設の紹介」が3.0ポイント、それぞれ減少している。

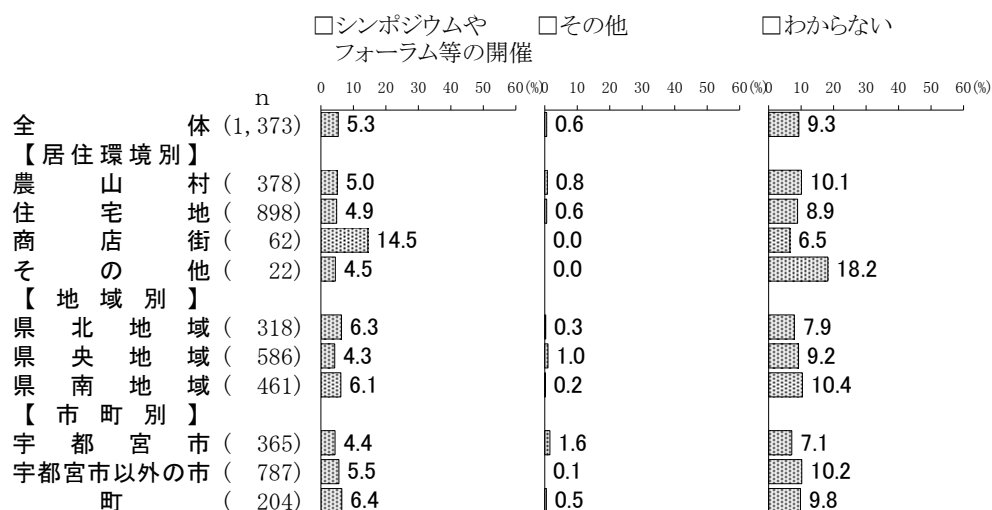
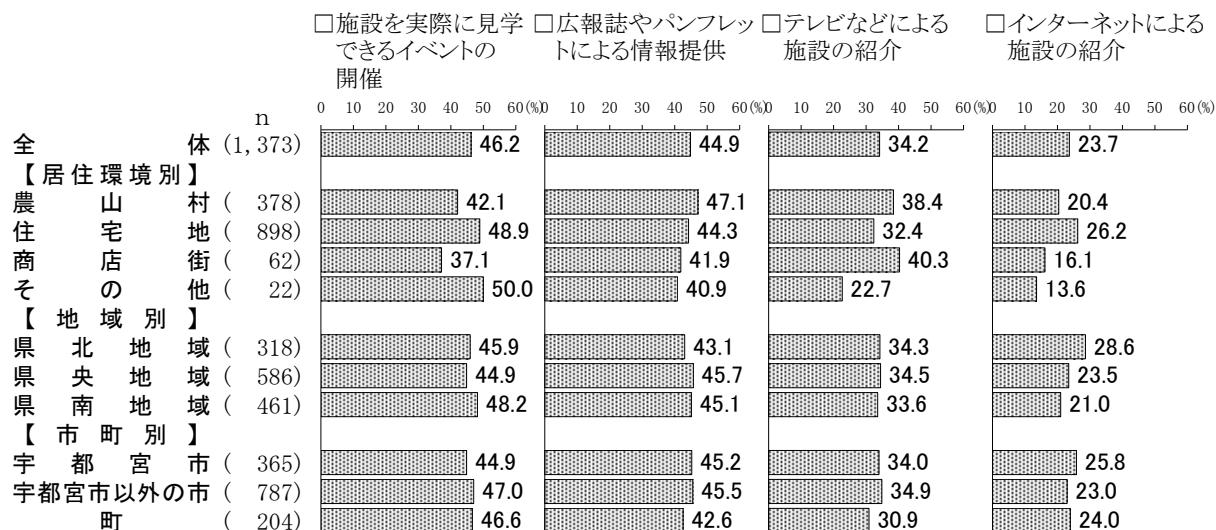
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「テレビなどによる施設の紹介」では〈女性〉(38.9%)が〈男性〉(29.6%)より9.3ポイント高くなっている。「インターネットによる施設の紹介」では〈男性〉(26.5%)が〈女性〉(21.4%)より5.1ポイント高くなっている。「広報誌やパンフレットによる情報提供」では〈女性〉(47.6%)が〈男性〉(42.7%)より4.9ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「施設を実際に見学できるイベントの開催」では〈女性30歳代〉が55.6%、〈女性60~64歳〉が54.2%と高くなっている。「広報誌やパンフレットによる情報提供」では〈男性60~64歳〉が61.0%、〈女性65~69歳〉が60.8%と高くなっている。「テレビなどによる施設の紹介」では〈女性65~69歳〉が44.3%と高くなっている。「インターネットによる施設の紹介」では〈女性30歳代〉が52.8%と高くなっている。

[居住環境別・地域別・市町別]



居住環境別でみると、「施設を実際に見学できるイベントの開催」では〈住宅地〉が48.9%と高くなっている。「テレビなどによる施設の紹介」では〈商店街〉が40.3%と高くなっている。「インターネットによる施設の紹介」では〈住宅地〉が26.2%と高くなっている。「シンポジウムやフォーラム等の開催」では〈商店街〉が14.5%と高くなっている。

地域別でみると、「インターネットによる施設の紹介」では〈県北地域〉が28.6%と高くなっている。

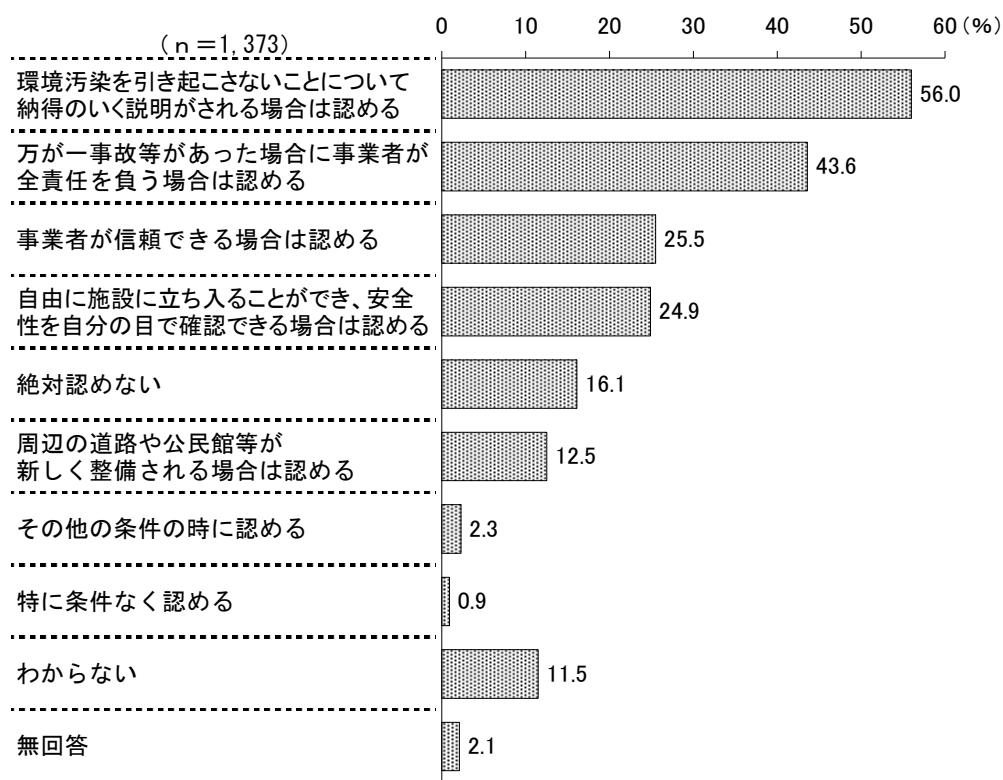
市町別でみると、「テレビなどによる施設の紹介」では〈宇都宮市以外の市〉が34.9%、〈宇都宮市〉が34.0%となっており、〈町〉(30.9%)に比べて高くなっている。

(4) 近隣の産業廃棄物処理施設についての考え

問27 もし、あなたの家の近くに産業廃棄物処理施設ができるとした場合、どのような条件であれば認めることができますか。次の中からいくつでも選んでください。

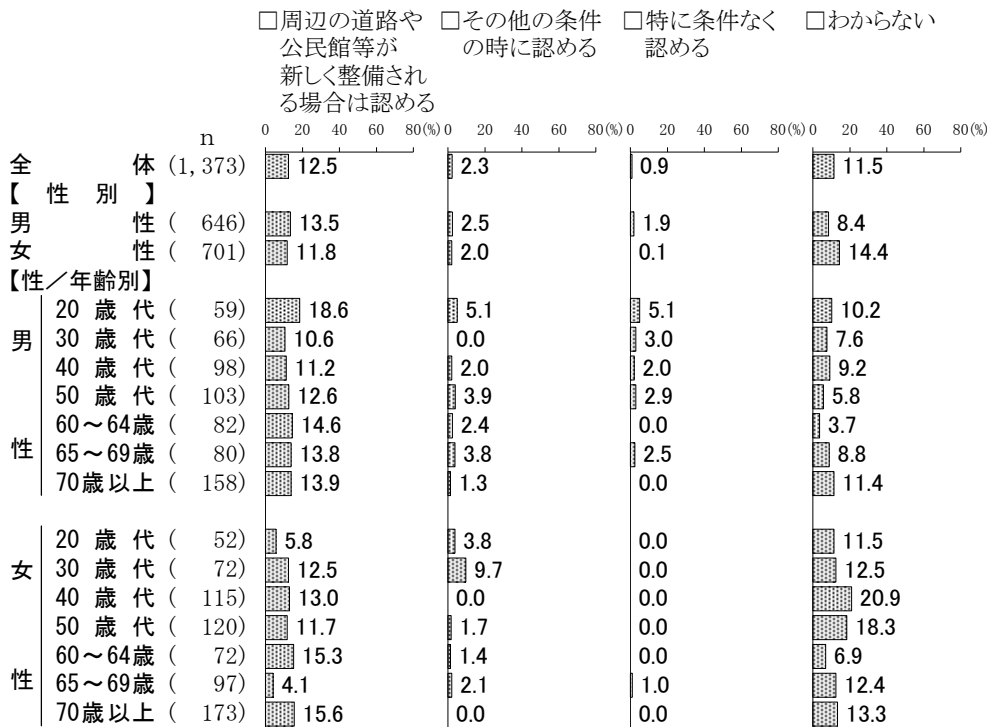
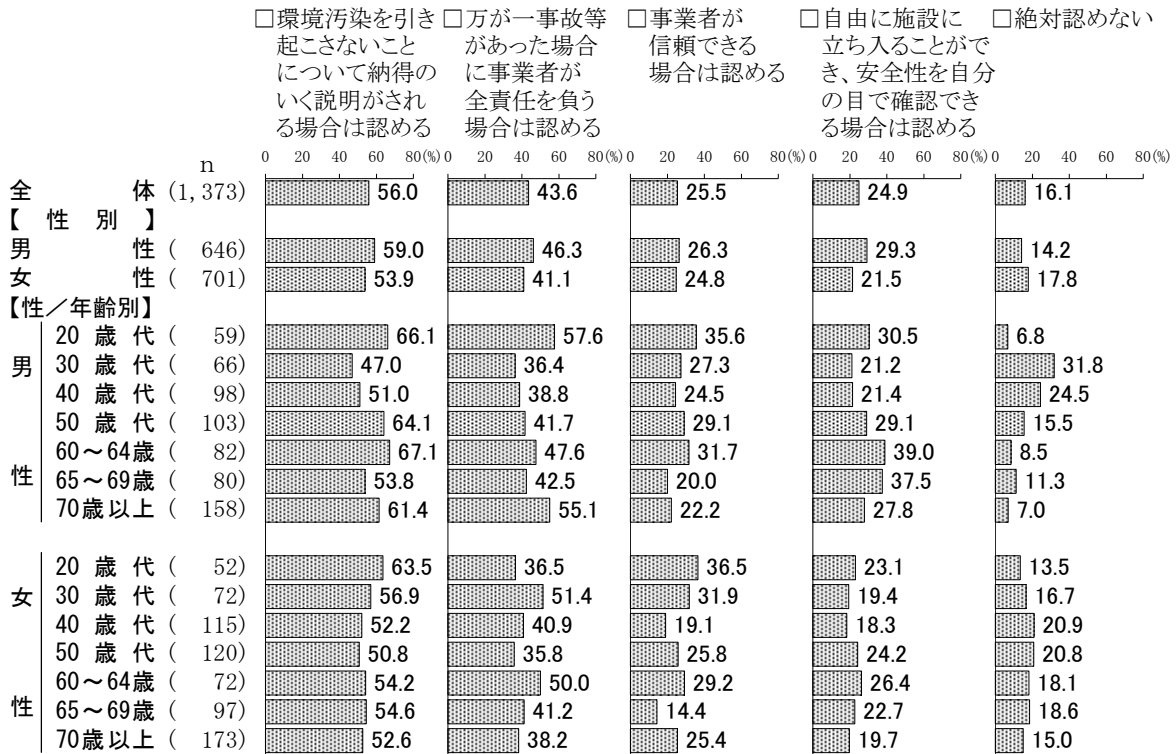
[n=1,373]

1	特に条件なく認める	0.9%
2	環境汚染を引き起こさないことについて納得のいく説明がされる場合は認める	56.0
3	万が一事故等があった場合に事業者が全責任を負う場合は認める	43.6
4	自由に施設に立ち入ることができ、安全性を自分の目で確認できる場合は認める	24.9
5	周辺の道路や公民館等が新しく整備される場合は認める	12.5
6	事業者が信頼できる場合は認める	25.5
7	その他の条件の時に認める	2.3
8	絶対認めない	16.1
9	わからない	11.5
	(無回答)	2.1



全体で見ると、「環境汚染を引き起こさないことについて納得のいく説明がされる場合は認める」(56.0%)が5割半ばで最も高く、次いで「万が一事故等があった場合に事業者が全責任を負う場合は認める」(43.6%)、「事業者が信頼できる場合は認める」(25.5%)、「自由に施設に立ち入ることができ、安全性を自分の目で確認できる場合は認める」(24.9%)の順となっている。

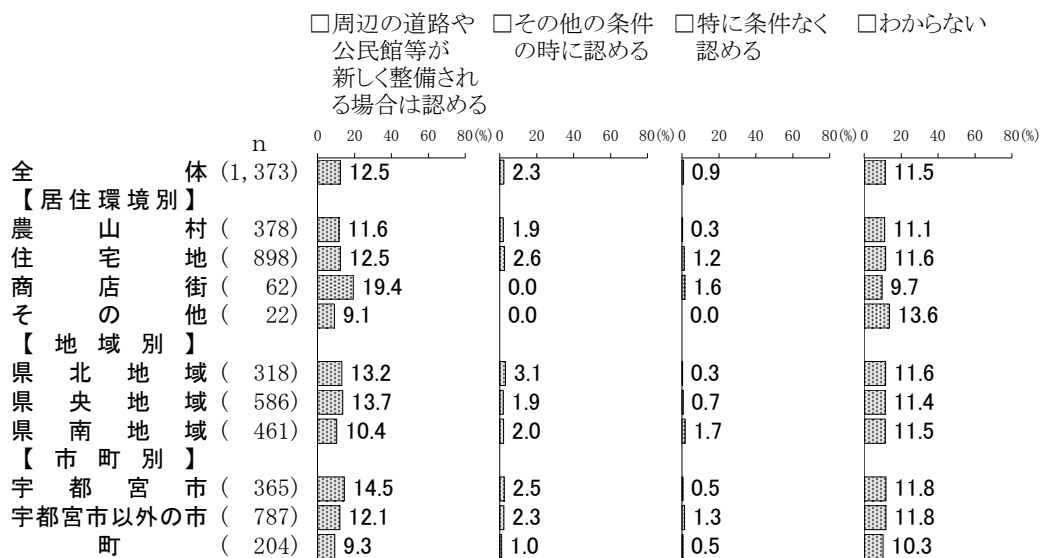
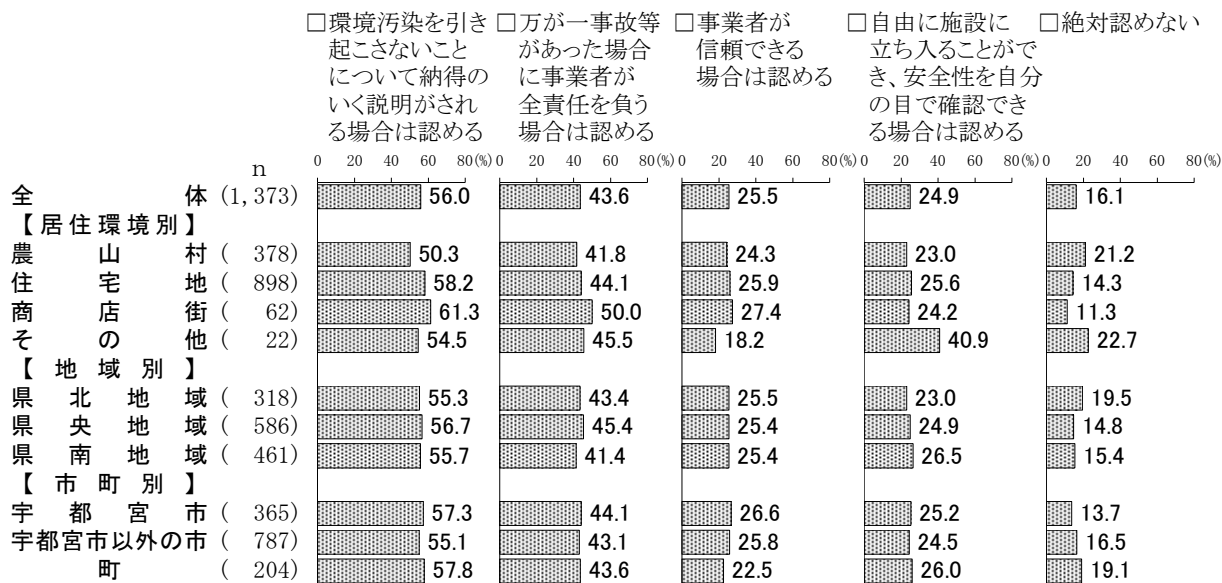
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「自由に施設に立ち入ることができ、安全性を自分の目で確認できる場合は認める」では〈男性〉(29.3%)が〈女性〉(21.5%)より7.8ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「環境汚染を引き起こさないことについて納得のいく説明がされる場合は認める」では〈男性60~64歳〉が67.1%と高くなっている。「万が一事故等があった場合に事業者が全責任を負う場合は認める」では〈男性20歳代〉が57.6%と高くなっている。「事業者が信頼できる場合は認める」では〈女性20歳代〉が36.5%、〈男性20歳代〉が35.6%と高くなっている。「自由に施設に立ち入ることができ、安全性を自分の目で確認できる場合は認める」では〈男性60~64歳〉が39.0%と高くなっている。「絶対認めない」では〈男性30歳代〉が31.8%と高くなっている。

[居住環境別・地域別・市町別]



居住環境別でみると、「環境汚染を引き起こさないことについて納得のいく説明がされる場合は認める」では〈商店街〉が61.3%と高くなっている。「万が一事故等があった場合に事業者が全責任を負う場合は認める」では〈商店街〉が50.0%と高くなっている。「周辺の道路や公民館等が新しく整備される場合は認める」では〈商店街〉が19.4%と高くなっている。「絶対認めない」では〈農山村〉が21.2%と高くなっている。

地域別でみると、「絶対認めない」では〈県北地域〉が19.5%と高くなっている。

市町別でみると、「絶対認めない」では〈町〉が19.1%と高くなっている。